EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

2002116948

PUBLICATION DATE

19-04-02

APPLICATION DATE

10-10-00

APPLICATION NUMBER

2000308802

APPLICANT: YOKOGAWA ELECTRIC CORP:

INVENTOR: KITAMURA HIKARI;

INT.CL.

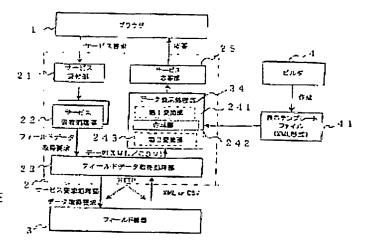
G06F 12/00 G06F 3/14 G06F 3/153

G06F 9/44 G06F 13/00 G06F 17/30

TITLE

: DATA DISPLAY METHOD AND DEVICE

THEREFOR



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that high-grade skills and lots of time for mounting the protocols of respective data sources and analyzing data formats are required in the case of adding a new service or supporting unsupported field equipment since a communication protocol and the data format are different for the respective data sources.

> SOLUTION: A standard protocol is used for the communication protocol between the data source and a service request processing part and data are transmitted by a data form provided with XSL or the data form provided with format data.

COPYRIGHT: (C)2002, JPO.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出原公開系号 特開2002-116948 (P2002-116948A)

(43)公開日 平成14年4月19日(2002.4.19)

(51) Int.Cl. ⁷		裁別記号		FI			,	-73-5 (参考)
G 0 6 F	12/00	5 4 6		G 0	6 F 12/00		546A	5B069
	3/14	3 1 0			3/14		3 1 0 E	5B075
	3/153	330			3/153		3 3 0 A	5 B O 7 6
	9/44				13/00		5 5 0 B	5 B O 8 2
	13/00	5 5 0			17/30		110F	
			家航查審	朱蔚求	請求項の数7	OL	(全 7 頁)	最終頁に続く

(21)出顯番号

特願2000-308802(P2000-308802)

(22)山原日

平成12年10月10日(2000, 10.10)

(71) 出題人 000006507

倾河電機株式会社

東京都武胤野市中町2丁目9岳32号

(72) 斑明者 北村 光

東京都武度野市中町2丁目9番32号 横河

電模株式会社内

Fターム(参考) 5B069 AA01 BA01 BA04 BB16

58075 PQ02 58076 DF08

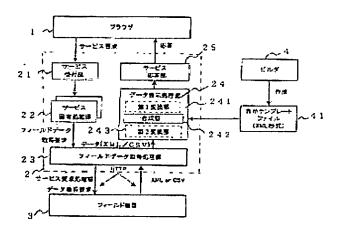
58082 AA01 GA07

(54)【発明の名称】 データ表示方法およびその装置

(57)【要約】

【課題】データソース毎に通信プロトコルとデータフォーマットが異なっているので、新しいサービスを追加したり米サポートのフィールド機器をサポートする場合に、各データソースのプロトコルの実装とデータフォーマットの解析を行なうことが出来る高度なスキルと多大な時間が必要になるという課題を解決する。

【解決手段】データソースとサービス要求処理部との問の通信プロトコルに標準規格のプロトコルを使用し、X SLが提供されているデータ形式またはフォーマットデータが提供されているデータ形式でデータを伝送するようにした。



V形式のときほそのまま表示するように変換して面記プラウザに出力するようにした。NSLが提供されていないNML形式やテータフォーマットが提供されていない USV形式でも表示できるという効果がある。

【 0 0 5 0 】また、N S L やデータフォーマットが提供 されている場合は、異なるフィールド機器のデータを結 合した表示が簡単に出来るという効果もある

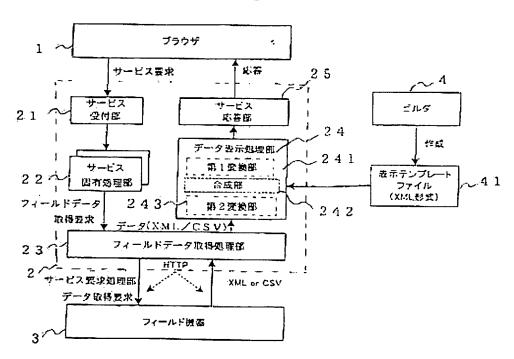
【0051】請求項予記數の発明によれば、請求項目をいし請求項6の発明において、サービス要求処理部でデータソースから得られたデータと表示テンプレートラッイルを合成してブラウザに出力するようにした。 定型の表示を簡単に実現することができるという効果がある

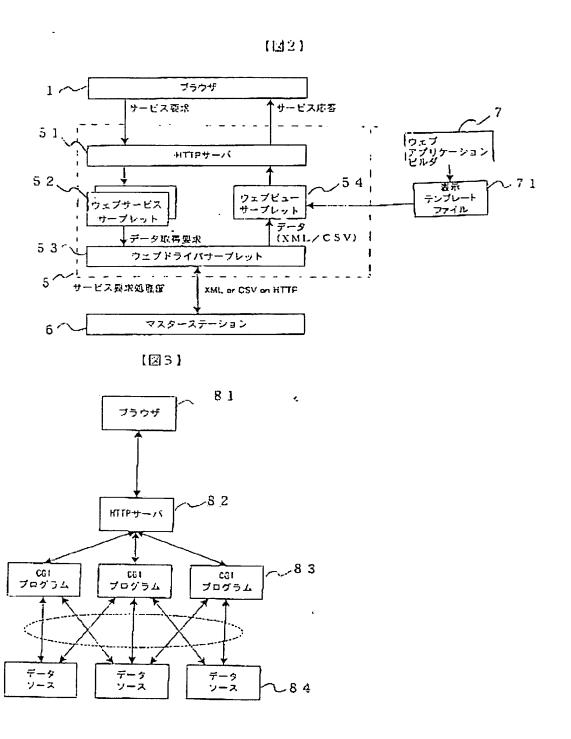
【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の一実施例を示す構成図である
- 【図2】体発明の他の実施圏を示す構成図である
- 【図3】従来のデータ表示システムの構成図である 【符号の説明】

- 1 ララウザ
- 2 サービス要求処理部
- ヨー サービス受付部
- 22 サービス固有処理部
- 23 フィールドデータ取得処理部
- 24 データ表示処理部
- ラーフィールド機器
- 4 ピルダ
- 4.1 表示テンプレートファイル
- 5 サービス要求処理部
- 51 HTTPサーバ
- 5.2 ウエブサービスサーブレット
- 53 ウエブドライバサーフレット
- 54 ウエブビューサーブレット
- 6 マスターステーション
- 7 ウエプアプリケーションピルダ
- 7.1 深示テンプレートファイル

【図1】





フロントページの続き			
(51) Int. CL. 7	裁別記号	FI	f-75-}*(参考)
GO6F 17/30	110	G O G F 17/30	380Z
	380	9/06	6 2 00